

# 「夏休み直前、今、勉強どうしてる？」

「1学期の模試でE判定」が過半数！

旺文社教育情報センター 29年8月29日

パスナビでは29年度第2回『パスナビ投票—夏休み直前！今、勉強どうしてる？』を実施した。

**実施期間**：平成29年6月27日（火）～7月31日（月）

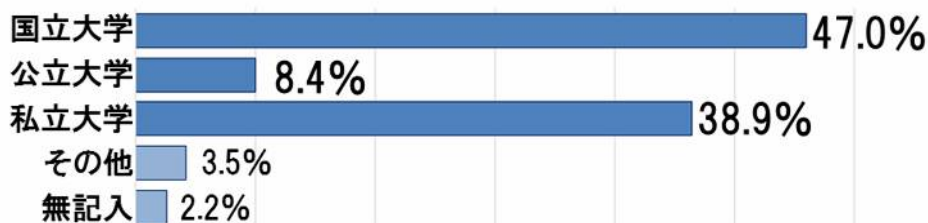
**回答総数**：731

（男女比…男子：288《39.4%》/女子：443《60.6%》）

**学年別回答率**

高校1年生：6.0% 高校2年生：12.4% 高校3年生：72.6% 浪人生：8.9%

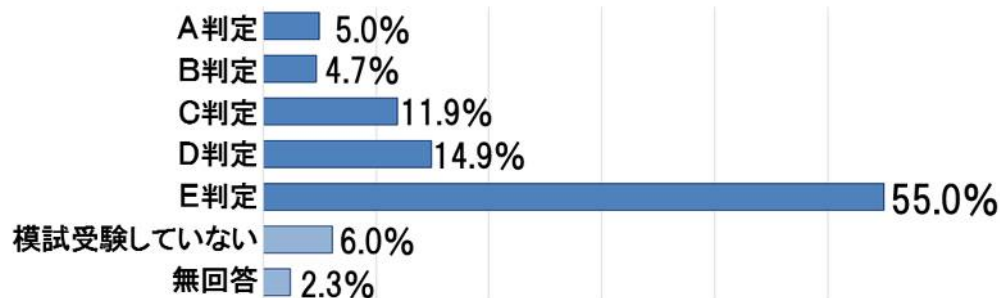
**1:【第一志望校は以下のどれですか？】** 回答数：（高3生+浪人生）596



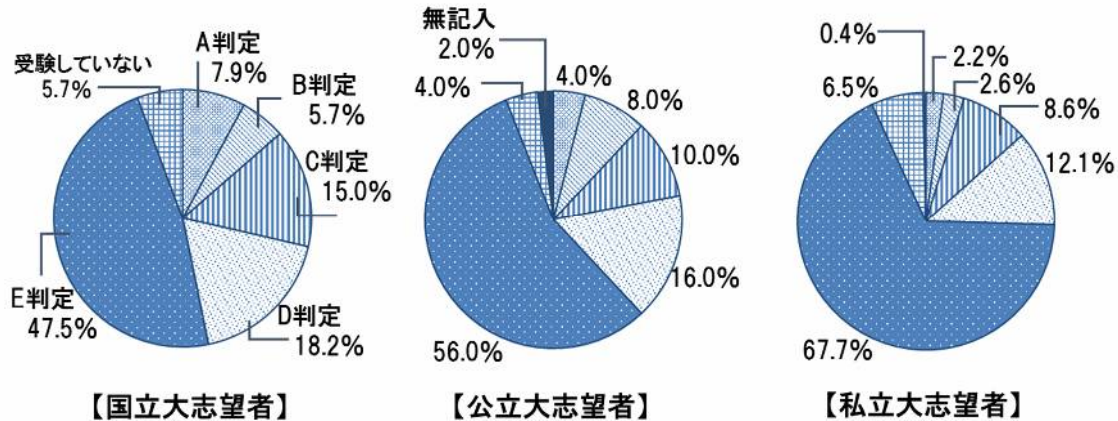
国立大志望が多く「47.0%」、ついで私立大志望で「38.9%」であった。

「その他」では、「専門学校」や「まだ決まっていない」「海外の大学」という回答。

**2:【春に受けた模試、第一志望は何判定でしたか？】** 回答数：（高3生+浪人生）596



半数を超える「55.0%」がE判定。合格可能性の高いA・B判定は合わせても10%に届いていない。



国公立大別に合格可能性の高い「A・B判定」を獲得した率でみると、国立大志望者で13.6%、公立大志望者で12.0%、私立大志望者では4.8%であった。

反対に合格圏に及ばない「D・E判定」の率では、国立大志望者が65.7%、公立大志望者が72.0%、私立大志望者が79.8%。

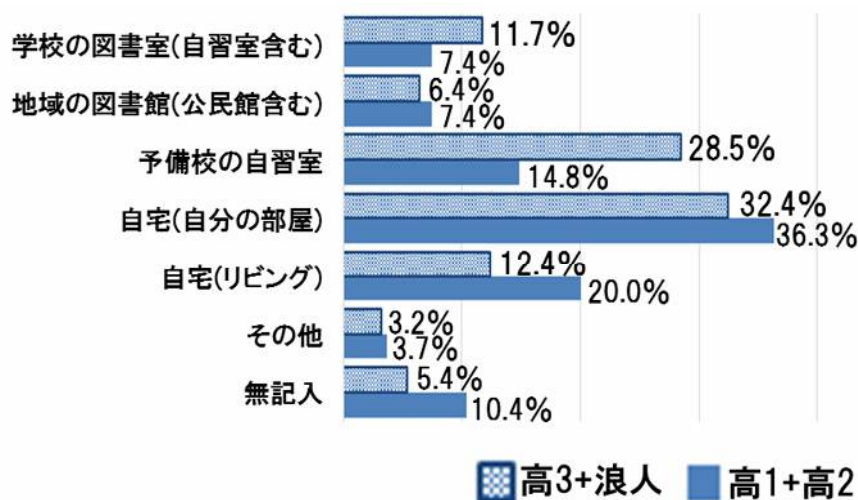
年度当初は国立大やハイレベルな大学の志望が多く、模試の判定が悪い受験生も多い。ここから志望校変更（国立大→公私立大、ランクダウンなど）をする受験生と、踏ん張って巻き返しを図ろうとする受験生に分かれていくことになる。

### 3:【どこで自習していますか？】(最も勉強時間が長い場所を選択)

回答数：(高3生+浪人生) 596 / (高1生・高2生) 135

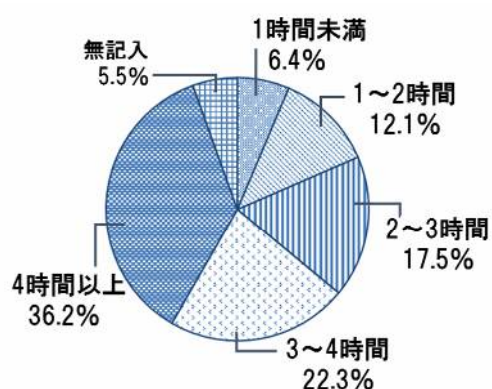
受験生（高校3年生+浪人生）と高校1・2年生の比較で見ると、受験生は「自分の部屋」「学校の図書室」「予備校の自習室」といった勉強に専念できる環境、高校1・2年生は「自分の部屋」「リビング」といった自宅派が多い。

なお、「その他」と回答した人では「フードコート」「カフェ」「ファミリーレストラン」などが目立った。

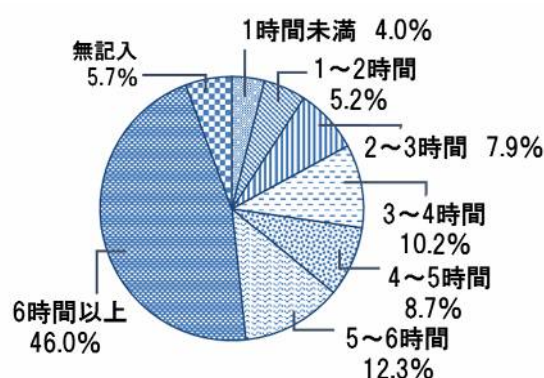


#### 4:【1日に何時間勉強していますか？(学校・予備校の授業除く)】

回答数：(高3生+浪人生) 596



【受験生「平日」勉強時間】



【受験生「休日」勉強時間】

上のグラフ【左】が平日、【右】が休日の勉強時間。

受験生(高校3年生+浪人生)は平日に「4時間以上」が最も多く、「3時間以上4時間未満」を合わせると6割近くを占める。一方、休日では「6時間以上」が圧倒的に多く、「5時間以上6時間未満」を合わせるとやはり6割近くになった。

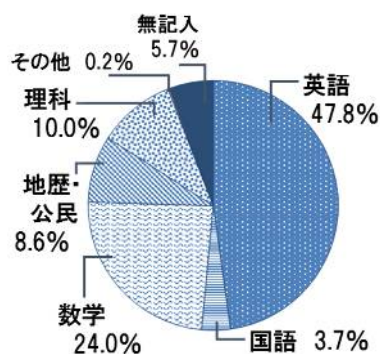
平日は3時間以上、休日は5時間以上が多いという結果だが、志望別に見てみると、<平日3時間以上>国公立大61.2%、私立大55.2%、<休日5時間以上>国公立大60.1%、私立大55.6%となり、国公立大志望の方が勉強時間が長い。

参考までに、高校1年生と2年生では平日の場合「1時間以上2時間未満:35.6%」「2時間以上3時間未満:23.7%」の順に多く、休日の場合では「2時間以上3時間未満:22.2%」「3時間以上4時間未満:15.6%」の順であった。

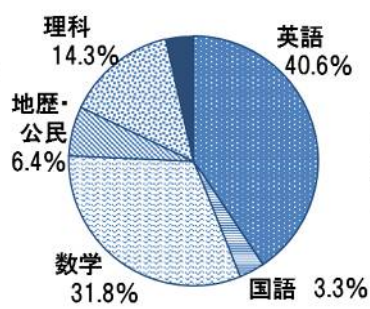
単純に比べると、1・2年生より受験生は『平日は2～3時間、休日は3時間以上 勉強時間が長い』ようだ。

#### 5:【最も重点的に勉強している教科は何ですか？】

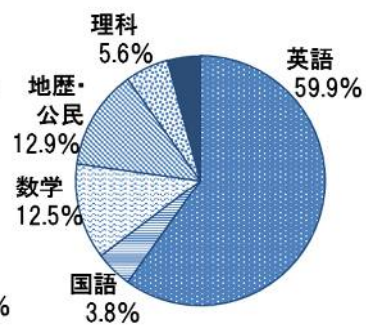
回答数：(高3生+浪人生) 596



【受験生「全体」重点教科】



【受験生「国公立志望」重点教科】



【受験生「私立志望」重点教科】

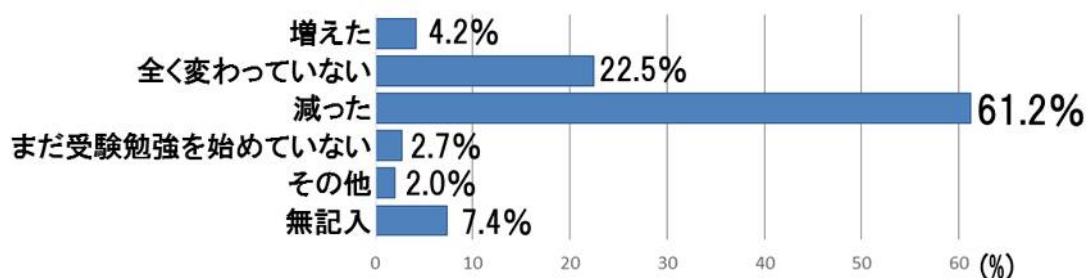
受験生全体で最も重点的に勉強しているのは「英語」で、5割近くを占めた。次いで「数学」の24.0%だが、英語の約半数に留まっている。受験生では「国語」が主要5教科の中では一番少なく3.7%であった。

志望別（国公立大志望と私立大志望）に見ると、国公立大志望者が主に英語と数学に重きを置いているのに対し、私立大志望者は英語が圧倒的に多くて約6割を占めた。

国公立大志望・私立大志望のいずれも、国語を重点科目にしている受験生は極めて少数。入試の国語で「古文・漢文を課さない」ケースも少なくないため、受験ラストスパート時期の短期集中でカバーできると考えているように思われる。ふだんの「読書量の少なさ」を指摘する報道も昨今多いが、受験勉強においても国語の学習量が少ないことが判明した結果となり、若者の国語力の欠如に繋がりそうで気になるところだ。

## 5:【受験勉強を始めてから、SNSの利用時間は変わりましたか？】

回答数：(高3生+浪人生) 596



投票実施の7月時点で「(SNSの利用が)減った」という回答が6割超。

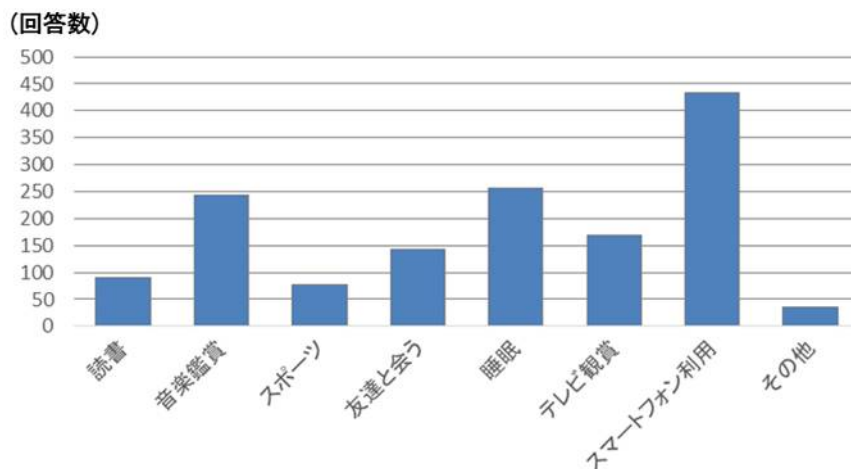
「全く変わっていない」と「増えた」を合わせた割合は約27%で、「減った」人の半分以下であった。

「その他」と回答した人では「そもそもSNSを利用していない」が大多数。「ガラケーだから利用せず」「携帯電話を持っていない」という回答もあった。

上記の『(SNSの利用が)減った』が6割超という数値については、平成26年のパスナビ・アンケート（平成26年6月27日～7月22日）での「(受験勉強を進める上で)一日の生活の中で『削りたい時間』は何ですか？」に対する最も多い回答「電話・メール・SNSを利用する時間：64.4%」とほぼ同率となっており、「減らしたい・減った」人が急激に増えているわけではないようだ。

## 6:【息抜きにしていることは何ですか？(複数選択可能)】

回答数：(高3生+浪人生) 596+ (高1生・高2生) 135



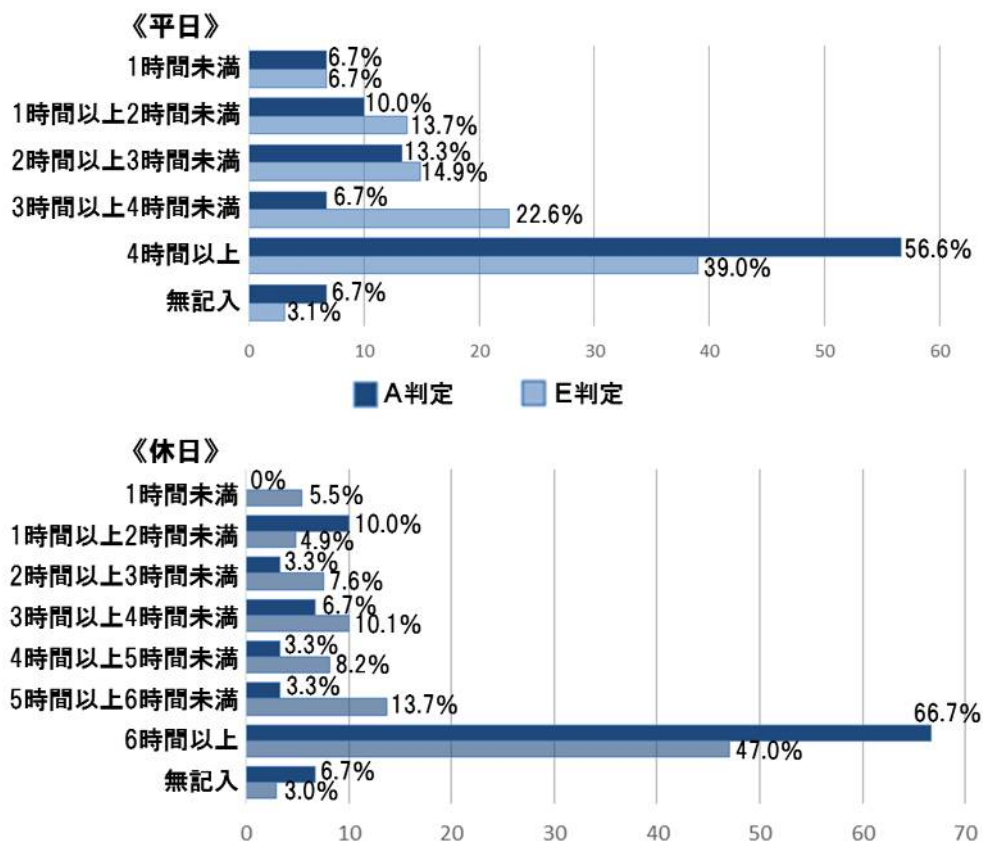
上のグラフは回答者全員の選択項目ごとの実数で表した。

一番多かったのは「スマートフォン利用」。「その他」と回答した人では「ゲーム」が多く、「甘いもの・お菓子を食べる」「食べる」「外食をする」等の飲食系も多かった。疲れた頭脳に栄養補給ということだろうか。

★ここから先は、上記の回答結果(投票結果)に基づく『クロス集計』を試みた。

### 【クロス集計:1】●「学習時間」の長短と「模試判定」の関係は？

回答数：(高3生+浪人生) 596



一日の「学習時間」の長短と「模試判定」(A判定・E判定)とに関係が見られるか調べたのが、前ページのグラフ。

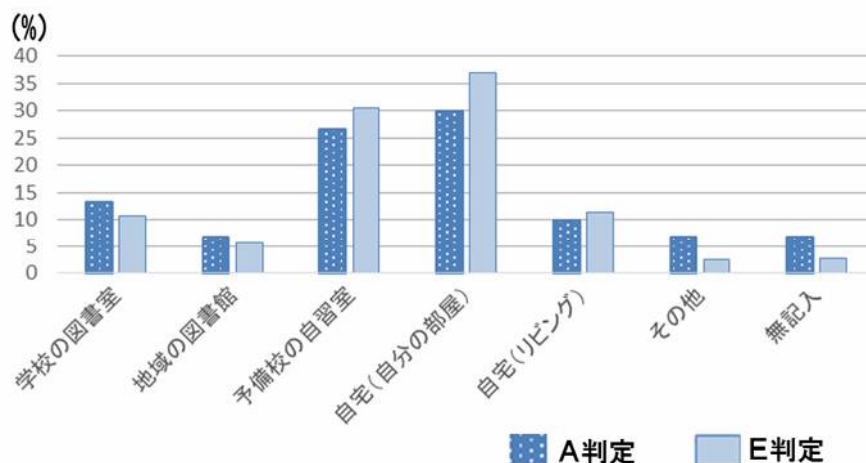
A判定の受験生とE判定の受験生を勉強時間で比較すると、A判定の方が平日で4時間以上、休日では6時間以上を勉強時間に費やす人がE判定と比べて非常に多い。

ただし、すべてが「勉強しているからA判定」とも言い切れない。本質問の留意点は1学期の模試判定という点だ。この段階で第1志望がA判定ということは、合格安全圏しか狙っていないこともありうる。前ページのグラフでA判定の勉強時間にばらつきがあるのはそのためだろう。特に「私立大志望」の回答者の中には、A判定でも勉強時間が短いケースが見受けられる。

## 【クロス集計:2】 ●ふだんの「勉強場所」によって「模試判定」に違いは？

回答数：(高3生+浪人生) 596

ふだん自習する場所と、模試の結果(判定)に因果関係はあるか、クロス集計をしてみた。

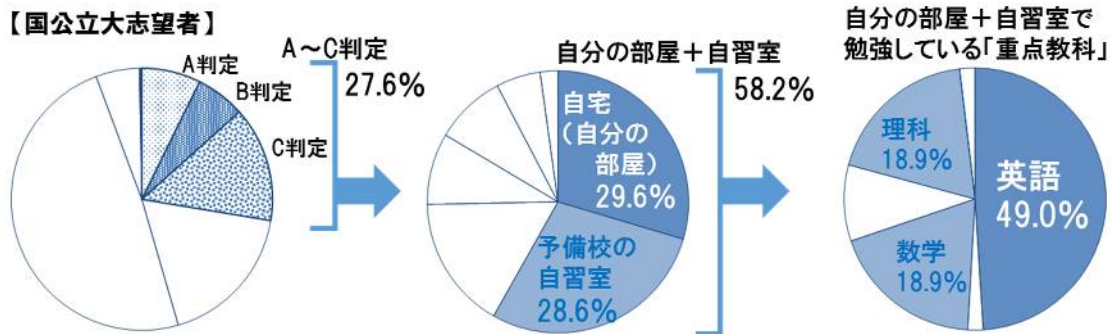


集計の結果では、「A判定」の受験生と「E判定」の受験生の差異は、ほとんど見られなかった。

近年、リビングでの学習が話題となっているが、これは主に小学生。本調査で大学受験生においても1割程度いることが判明したが(P.2)、その効果のほどは分からない。上のグラフではA・E判定が同程度いるが、これとは別に勉強時間で見てみると、リビング学習者はその時間はかなり短い。最多回答は平日「1～2時間」(36.6%)、休日は「6時間以上」(28.7%)だが、それに次いで「2～3時間」(22.8%)となっている(全体は前ページ参照)。

### 【クロス集計:3】 ● 模試判定の良い受験生は「どこで」「何の教科」を勉強している？

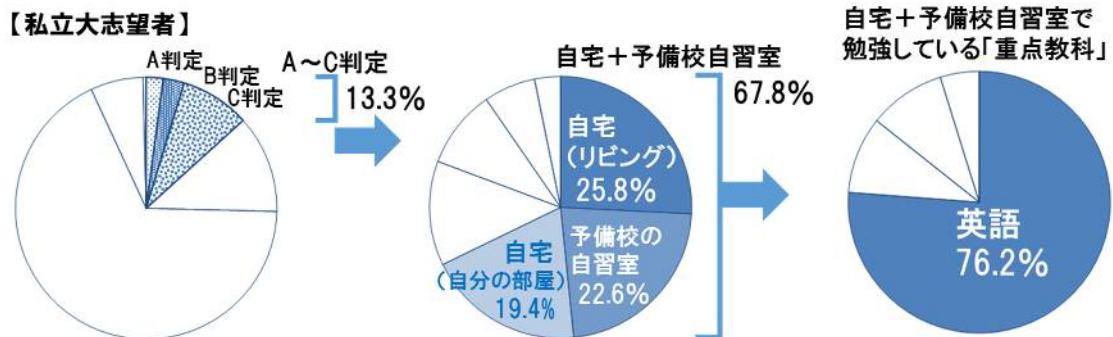
回答数：(高3生+浪人生) 596のうち国公立大A~C判定、私立大A~C判定



最後に、模試判定の良かった受験生は、主に「どこで・何の教科」を勉強しているのかを見てみよう。回答を限定したため集計数が少ない。参考データとして見てほしい。

国公立大志望者の約3割を占める模試判定の良かった層では、「自宅(自分の部屋)」が約3割、「予備校の自習室」も3割近くで、その2か所で勉強している受験生の約半数が「英語」を重点的に勉強していることが分かった。また、重点教科が「英語・数学・理科」で9割近くになっている点も興味深い。

同じクロス集計を私立大志望者で調べた結果が下の円グラフ。



私立大志望で模試判定の良かった受験生では、勉強場所が「自宅(リビング)」「予備校の自習室」「自宅(自分の部屋)」の3つに、それぞれ約20~25%で割れた。3か所の合計は約7割で、それらの場所で重点的に学習している教科は「英語」で多数を占めた。